

時期	3年A巡	単元	実習	教科名	ECCS	
科目	自動車 整備作業	教科書等 持参品	一級エンジン、TS2級（エンジン）		発行日	2021.4.1
総時限	60時限				教科担当	小野田 高濱
必要時限	57時限					

指導教員の実務経験

該当

非該当

自動車整備士として、エンジン整備の実務経験がある教員によりエンジンの構造・作動について指導する。

教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ①電子制御エンジンに用いられる各センサの点検と故障診断を学ぶ。
- ②電子制御エンジンに用いられる各センサの点検と故障診断を学ぶ。
- ③外部診断器を活用した故障診断を学ぶ。

授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

- ①センサの種類やアクチュエータの駆動方式に合わせて、サーキットテストやオシロスコープを活用し故障診断ができる。
- ②難解不具合の故障診断に関して、理論立てた点検方法を考えることができる。

学習評価（期末試験での主な試験項目）

- 1) 履修試験での学習評価 実技試験100点にて評価する。
70点以上で合格。
- 2) 出題試験項目
 - ①センサ、又はアクチュエータ本体、配線、ECUいずれかに断線、短絡があり故障診断を行う。

準備学習

事前に次回の授業内容範囲を予習して、テキストを読んでおき、授業内容や質問事項を学習する。

